

被保険者(本人)向け

人間ドック受診ガイド

51歳～75歳

今年度末日3月31日時点

「生活習慣病」や「がん」の早期治療に役立てよう！

★名鉄健保が人間ドックの受診を勧める理由

病気はある程度の進行がないと自覚症状が出ませんが、自覚症状が出てからでは治療が困難といわれています。とくに「がん」は早期の発見と治療が大切です。

会社で受診している定期健康診断は生活習慣病を主に診ていますが、健保の勧める人間ドックでは生活習慣病の他に「がん」を検診します。

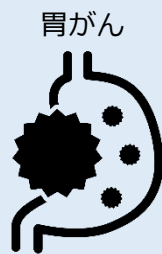
がんは早期発見・早期治療すれば、治療の負担も軽く治療しながら働くこともできます。健保の人間ドックを習慣化し毎年受診に心がけましょう。

★人間ドックでなにか分かるの？

厚労省が推奨する日本5大がん検診



胸部 X 線
40 歳以上
1 回 / 1 年

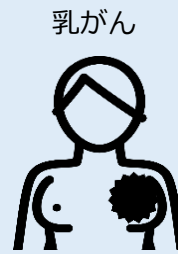


胃部 X 線
40 歳以上
1 回 / 1 年

※胃カメラは1回/2年



便潜血
40 歳以上
1 回 / 1 年



マンモグラフィー
40 歳以上
1 回 / 2 年



頸部細胞診
20 歳以上
1 回 / 2 年

名鉄健保は毎年人間ドック受診を補助しています

名鉄健保 人間ドック補助事業 の概要です



対象者

- 51 歳～75 歳（今年度末日 3 月 31 日時点）
- 本人（被保険者）

期 間

- 4 月 1 日～ 3 月 31 日の 1 年間
 ※ドックの検査項目、補助対象・内容は年度で異なります。
 年度内で 1 回限り、名鉄健保と受診する医療機関との間で契約している人間ドックコースにつき、利用者負担金を除く額を補助します。

利用できる医療機関

- 名鉄病院
- 名鉄健保が指定した医療機関（別紙：人間ドック指定医療機関一覧表）

検査項目



所定の検査項目はすべて受診してください。

個人の判断で項目を変更した場合は、補助の対象になりません。
 健診費用の全額を請求させていただきます。

※オプション検査は、全額本人負担となります。

ただし、ドックのオプションとして「乳がん検診」「子宮がん検診」を追加するときは、それぞれの検査費用につき一部または全額を健保が補助します。

料 金

利用者負担金

受診する検査	補助する年齢	名鉄病院での受診	名鉄病院以外の医療機関での受診
標準コース	51 歳～75 歳	5,000 円	7,000 円
消化器がんコース	51 歳～75 歳	11,000 円	標準コース以外は補助対象外 [名鉄健保と医療機関が契約しているコースのみ]
脳コース	51 歳～75 歳	24,000 円	
総合がんコース	51 歳～75 歳	26,000 円	
脳・総合がんセットコース	51 歳～75 歳	53,000 円	
乳がん検診オプション	51 歳～75 歳	無料 「マンモ or エコー検査」のいずれか 1 つ	受診時にいったん全額を支払い 後日に健保に申請して補助を受ける 健保補助額：上限 5,000 円
		3,000 円 「マンモ + エコー検査」の複合検査の場合	
子宮がん検診オプション	51 歳～75 歳	無料 子宮頸がん検査	
他のオプション	51 歳～75 歳	全額利用者負担	全額利用者負担

※35～39 歳の方が名鉄病院で受診する場合は、「標準コース」が補助の対象コース。



人間ドック・受診のながれ です



受診したい指定医療機関に申し込みをして、受診する日を決めます。



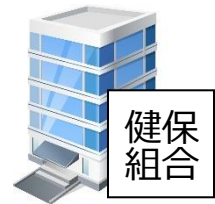
受診の前に
申し込みと連絡を！



注意：「会社経由で申し込み」の会社の方は、会社の総務担当者に連絡のうえ、指示に従ってください。



申込内容を健保にお知らせ下さい。記入用の『人間ドック受診申込書』は下記からダウンロードできます。



名鉄病院で受診の場合



名鉄病院でドックを受診します。



利用者負担金とオプションの費用は受診当日に名鉄病院でお支払ください。



検査結果が送られてきます。

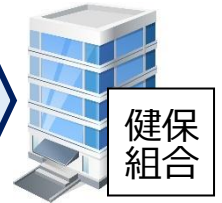


その他の医療機関で受診の場合

※名鉄病院以外の指定医療機関



受診前に利用者負担金を健保にお支払いください。



医療機関でドックを受診します。



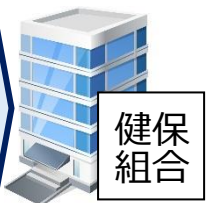
オプションの費用は受診当日に医療機関にお支払ください。健保補助となる乳がん検診・子宮がん検診も、この場で費用をいったん全額お支払ください。



検査結果が送られてきます。



乳がん検診・子宮がん検診補助申請書と領収書を健保にお送りください。会社経由で補助額をお戻しします。





注意していただきたいことで

1 手続きの方法を事前にご確認ください

補助対象のドックの申し込みの手続きや受診方法は、お勤めの会社によって異なることがあります。事前に、各会社の衛生管理・健康管理室・庶務・総務担当者などにご確認ください。

2 お申し込みはお早めに

医療機関によっては、希望者が多くて申し込みをしてもすぐに受診できないことがあります。特に、乳がん検診・子宮がん検診をオプションで希望される場合は、検査機器が少ないこともあって“待ち”が長くなる傾向があります。申し込み時期によっては予約がいっぱいでその年度での受診ができないこともあります。ドックの補助内容は年度ごとに決まりますので、翌年度では補助の内容が変わる可能性があります。受診の予定が決まりましたら、医療機関に早めに申し込んでください。

3 名鉄健保の指定医療機関で受診してください

名鉄病院または名鉄健保の指定医療機関（別紙：人間ドック指定医療機関一覧表）で受診してください。他の医療機関でドックを受診した場合は補助の対象となりません。全額自己負担となります。

4 所定の検査項目はすべて受診してください

個人の判断で一部の検査項目をキャンセルしたり、別の検査に変更はできません。オプション検査の追加を除き、検査項目の変更やキャンセルがあった場合は補助の対象となりません。全額自己負担となります。

5 健診結果について

- ◆健診結果は、医療機関から健保組合にも通知されます。
- ◆申し込み時にお預かりした個人情報と健診結果は、名古屋鉄道健康保険組合個人情報保護管理規程に従って、厳重に保管・管理いたします。
- ◆健診結果や医療機関の利用状況の情報は、各会社との保健事業実施において共有します。
- ◆健診結果や医療機関の利用状況の情報は、保健事業以外の目的では使用いたしません。
- ◆健診結果について、健保組合から受診者に対してお手紙をお送りする場合があります。
- ◆健診結果において「要精密検査」の診断がある場合は、必ず医療機関を受診して医師の指示に従ってください。精密検査を受診しない場合や治療をしない場合は、健診費用を全額負担していただくか、次年度から当補助制度が受けられなくなる場合があります。